

個別最適化された学びの保障・家庭学習への活用に向けて

デジタル学習教材「スマイルドリル」の試験運用開始

I. 令和4年度 デジタルドリル教材の試験運用について

令和4年度に入り、市立全小中学校を対象として、デジタル学習教材「スマイルドリル」の試験導入が始まりました。本市におけるデジタルドリル教材の試験導入は、3年度に実施した「すららドリル」に続いて、2例目となります。今回のデジタルドリル教材の試験導入には、大きく3点のねらいがあります。

① GIGAスクール構想の一環として、児童生徒に対する「個別最適化された学びの保障」の実現に向けたソフトウェアの推進を図ること

② 今後、本市において各家庭への端末の持ち帰りを実施した際の家庭学習課題の選択肢の一つとして活用し、各学校においては、管理画面から児童生徒の取組

スマイルドリルの特長

- 基礎学力が定着する(ドリルソフトの大命題)
 - ✓ 良質な問題と適切な解答形式、意欲的に取り組める仕掛け
- 導入後すぐに使える
 - ✓ ICTを苦手な先生が使える。教科書の順番通り。
- 毎日使える
 - ✓ PCの日常使いを後押し、効果的にPC活用促進
- 自宅でも使える
 - ✓ 1人で迷わず使える、学習塾に通えない家庭を支援
- 先生の時間を有効活用(働き方改革)
 - ✓ 準備/採点/成績管理不要、個別指導に注力できる

【資料提供：(株)ジャストシステム】

の初期登録作業が完了し、5月からは市内の全小中学校で運用が可能となっています。従来の紙製のドリル教材や昨年度の「すららドリル」と比較しながらご活用ください。なお、アカウントの有効期限は令和5年3月末までです。

II. 各校における円滑な活用に向けて

教員向け初期研修についても発行元の(株)ジャストシステムからオンライン研修の機会提供があり、5月19日に開催された第1回研修には、16の小中学校から89名の先生の参加がありました。

研修では、ソフトの特徴に加え、主要活用シーンとして次の3つの場面について、「先生用画面」「児童生徒用画面」それぞれの使い方のポイントを丁寧に教えていただきました。

- ◎ 自主学習での活用
- ◎ 授業の中での活用

◎ 学習状況の管理(先生) 受講した先生方におかれましては、実際の活用と未受講の先生方への伝講をお願いいたします。また、ジャストシステムのHPでは、一般向けの研修も毎月定期開催されています。各学校宛てメールにて案内しておりますので、適宜ご活用ください。

III. 端末持ち帰り実施に向けて・オフライン対応アプリ「どこでもスマイル」

試験導入となったスマイルドリルに関連して、この4月にリリースされたWindows OS用のオフライン対応アプリ「どこでもスマイル」も、近日中にインストール予定で、「家庭のインターネット環境に左右されることなく、スマイルドリルを活用することが可能」になる見込みです。

今後、マニュアル等の整備を経て、本市においても令和4年度中に段階的に端末の持ち帰り学習を実施すべく、準備を進めております。

① 下校までに、児童生徒端末に課題をダウンロード(家庭にインターネット環境があれば、家庭でのダウンロード

も可)

② 児童生徒は、端末を家庭に持ち帰り、ダウンロードした課題に取り組み。(家庭のインターネット環境は不問)

③ 翌登校日、教室で各自口グインし課題を提出。

④ 先生は、管理画面で児童生徒の取組状況を確認し、指導支援に活用する。

といった流れでの運用が想定されます。

なお、アプリ「どこでもスマイル」及び端末の持ち帰り運用の方法や実施時期等につきましては、マニュアル等の準備が整い次第、各学校宛て文書にて案内いたします。

スマイルドリル

- 毎日使えて、ICT活用促進と学力向上の両方に効果
- 起動後すぐに学習に取り組める、学習のリズムを崩さない
- 児童生徒の学習状況が見える化、個別指導を充実できる

